



# きくがわ 社協だより

No.178

2019年

12月発行

ホームページ <http://www.kiku-syakyou.or.jp/>

菊川市社協

検索

社協(社会福祉協議会)は、みなさんと共に  
「安心していきいき暮らせるまち」を考え、推進する民間団体です。

フェイスブックページ



[https://  
www.facebook.com/  
kikugawasyakyou/](https://www.facebook.com/kikugawasyakyou/)

## 長野県長野市 「災害ボランティアバスパック」 を開催しました



ボランティアバスを降りて、サテライトへ移動



活動前の注意事項の説明



家屋床下の泥掻き出し作業



爪痕残る被災地の状況

11月19日(火)、長野県長野市災害ボランティアセンターへ参加人数21名(男性16名、女性5名)でボランティア活動に行って来ました。

主な活動は、被災地での家屋内の清掃作業でした。

社会福祉法人 菊川市社会福祉協議会

〒439-0019 静岡県菊川市半済1865(プラザけやき内)

☎(0537)35-3724 Fax(0537)35-3202

Eメール [info@kiku-syakyou.or.jp](mailto:info@kiku-syakyou.or.jp)

# 災害ボランティア活動～長野県長野市～

11月19日（火）災害ボランティアバスパックを実施しました。菊川市内外から集まった21名のボランティアの皆さんを乗せたバスは、午前3時に菊川文化会館アエル第2駐車場を出発し、長野市で午前9時から午後3時まで「長野県長野市災害ボランティアセンター」でボランティア活動を行いました。

## どの様な活動をしたのですか？

現地では、4～5人ずつで5グループを作り各家に分かれました。それぞれの活動は、床下泥掻き出しや噴霧器での床下消毒、浸水して崩れかけた壁の撤去などでした。



## 参加されたボランティアの皆さんの声

### ① ボランティアバスパックに参加された動機は？

他人事ではなく、自分で出来ることがあれば何かしらしたかったから。（40代男性）



ボランティアをしたいと思っていても個人ではハードルが高く、ボランティアバスなら私でも参加できると思ったから。日帰りというのも参加しやすかった。（40代女性）

### ② ボランティアバスパックに参加してみた感想は？

想像以上に被害の大変さを感じた。訪問したお宅での交流で、「こうして話が出来ただけでも嬉しい」と言ってくださり、被災された方の気持ちに寄り添う大切さも感じた。（50代女性）



初めての参加だったので要領が良く判らず、どんなものを準備するのか、わかりやすい説明が必要。水と泥に浸かって水害の恐ろしさを感じた。（70代男性）

### ③ 今後の活動に活かしたいことや、まわりの皆さんに伝えたいことがありますか？

災害の現場に来て、見て、作業する事で、水害の恐ろしさを肌で感じた。（70代男性）  
現地スタッフが多いので、ボランティア活動が順調に出来ているのだと思う。はじめての人でも皆と協力して作業が出来ていたの、誰でもボランティアに参加してほしい。（60代男性）



職場でも家庭でも日頃の備えを少しずつでも進めておくことが必要。（50代女性）  
近所や班の関係は大切だと思った。ボランティアをお願いする方法などが、わかりやすくなればいいと思う。（40代女性）



# 災害ボランティア活動に関する社会福祉協議会の取組み

## 災害ボランティア支援本部の運営

災害が起きた時、社会福祉協議会はその災害の規模により、行政と連携して『災害ボランティア支援本部』を設置します。主な役割として「住民や地域が必要とする支援や生活課題の把握」「ボランティアの受付、調整、派遣」「行政と連携した情報収集及び発信」「本部や各団体等との連携」「地域福祉活動の支援」があります。

菊川市災害ボランティア支援本部は「菊川災害ボランティアコーディネーター」（通称「菊ボコ」）にご協力いただき、連携しながら運営にあたります。災害時に迅速で確かな運営ができるよう、菊ボコの皆さんと協働して毎年一回「災害ボランティア支援本部立ち上げ・運営訓練」を実施しています。



## 災害ボランティアコーディネーター養成講座



静岡県ボランティア協会、静岡県西部地域局、菊川市危機管理課、菊ボコの皆様に講師を担っていただき、今年度は7月から8月に掛け「災害ボランティアコーディネーター養成講座」を開催しました。

2回の講座で講義や活動紹介、体験報告として「災害ボランティアコーディネーターとは」「第4次地震被害想定概要」「菊川市の防災対策について」「菊川災害ボランティアコーディネーターの活動紹介」「災害ボランティア活動報告」、演習として「避難所運営ゲームHUG」を受講し、3回目は「災害ボランティア支援本部立ち上げ訓練」に参加しました。受講者の皆様に災害ボランティアコーディネーターの役割や被災者の気持ち、備えの大切さ、ボランティア派遣の流れなどを学んでいただきました。

## この人に聞きました。

### 菊川災害ボランティアコーディネーター(菊ボコ)伊藤学さん

今回災害ボランティアバスパックに参加し、自分たちの活動は1日でしたが他の団体や個人の力が一日一日積み重なり、大きな力となることを実感しました。被災された方も片付けて欲しい一方で「この経験を伝えたい。」「誰かと話がしたい。」という思いが感じ取れ、ボランティアとして何うことで力を得てもらっている。お互いにプラスな面を感じました。仕事を休んでまでボランティアをする難しさもありますが、「参加したい!」職員がいた時に行きたい人を支えられるような職場・会社が増えればと思います。

災害ボランティア支援本部立ち上げ訓練もはじまって20年近くになります。地域の中で一人一人できることは必ずあります。訓練にひとりでも多くの方に参加していただき、互いに顔が分かったり業務を知っていただくことが大切だと思います。長く関わっていただけのように負担無く活動していければと思います。

また災害が起きれば、皆、被災者という中で要援護者が置いていかれないように考えていかなければと思います。



## 人生は出会いと挑戦

### Q. 現在の活動について教えてください。

手話サークル「太陽の会」で活動しています。手話サークルに入るきっかけは、菊川市社会福祉協議会の「はじめての手話」講座の募集を見て参加したことです。元々、両親が手話サークルに入っていて手話を勉強し、家に帰ってくると、復習で手話をしたり、高校も福祉科だったので、興味がありました。菊川の手話サークルは、ろうあ者と一緒に勉強し、サークル活動も活発で、とても楽しいです。

今、消防士として菊川消防署で働いています。消防士は、小さい時からなりたいた職業だったので、大変な事もありますが、楽しく働いています。消防士としても手話は必要だと思います。サークルも毎回は参加できませんが、都合に合わせて参加し、勉強したり楽しい時間を過ごしています。いずれは、手話通訳者にもなりたいと思っています。



岡本 有加さん

### Q. 活動して楽しいことや印象に残っていることがあったら教えてください。

手話サークルは、仕事の癒しになっています。手話の歴史を教わり、手話劇・手話のいろはかるたはとても楽しく、手話サークルの皆さんも家族のように接してくれます。去年、菊川市のシティマラソンに「手話でGO!」と書かれた手話言語条例に関するオレンジTシャツを着て走りました。皆さん、忙しいにもかかわらず応援に来てくれ3位となりました。「菊川市手話言語に関する条例のつどい」も、来場者と教養を深めたり、交流する事が楽しいです。

(右の写真は菊川シティマラソン表彰式のもので)



### Q. 趣味や楽しみなことは何ですか。



趣味は、夏は登山、冬はマラソンです。夏の登山は日本百名山を、冬のマラソンは旅行のついでに地域のマラソンに参加しています。国語の先生に、「『百聞は一見にしかず』聞くばかりではなく目で見て確かめなさい。」と言われ、知識だけでなく目で見て確かめる地域性・名物を楽しんでいます。世界遺産にも興味があります。

(左記の写真はチングルマの綿毛 南アルプスを縦走中に撮った岡本さんの好きな花です。)

### Q. これからの目標や、やってみたいことがあったら教えてください。

人生は一度きりなので、出会いを大切に、様々なことに挑戦したいと思っています。

高校生の時に、障がいがある子どもと障がいがない子どもが自然の中で1週間キャンプをするボランティアに参加しました。このキャンプは、多様な立場を理解し心のふれ合いを深めながら支援する心や社会性を培い、ノーマライゼーションの一層の進展を図るもので、ボランティアとして参加した私自身も子ども達から多くのことを学びました。私の人生の経験を活かし、今後も福祉に関わりつつ様々なボランティア活動を通して、沢山のひとと出会い教養を深めていきたいです。



# レク出前サポーター

レク出前サポーターの始まりは、平成25年度に社会福祉協議会で開催された「レクリエーション講座」の受講後、地域への出前レク参加呼びかけに賛同した3名のメンバーで始めました。その後、新たな仲間も増え、現在は12名で活動しています。



(サポーターメンバー)

各自参加メンバーの都合を調整し、レクリエーションの勉強と試行錯誤を繰り返しながら地域の皆さんと楽しみ方を考えてきました。昨年度はおおよそ26ヶ所の集まりの場に出向き、好評をいただきました。

また、何度か同じ集まりの場に呼ばれることもあり、その度に新しいレクリエーション内容を検討しながら出前活動を行っています。

市内各地で開催される行事や集いなどの場にお呼び頂くと、いつでも、どこにでも出掛け、「楽しい健康づくりを兼ねたレクリエーション」と「笑顔」を届けています。

皆さんが集う場では、皆さんに喜んで頂くことはもとより、私たちも一緒になって楽しみ、健康づくりや仲間づくりの場にしたいと思っています。



(つりぼりゲーム)



(ソフトボーリング)

月一回、メンバー全員が集まる会合をもち、出前依頼の内容検討や準備を行っています。さらに、メンバー各自の地域での活動についての情報交換なども行います。

私たちの活動の特徴は、自分たち独自のレクリエーション・メニューを考えて検討し合ったり、手作りレク用具を考え手分けして作ったりするところです。

メンバーで意見を出し合い、工夫してものづくりする作業も活動の大きな楽しみのひとつになっています。

今後もこのような活動を継続していく中で、自分たちの健康づくり、仲間づくりとしての場を更に広げていきたいと思っています。

私たちの「レク出前サポーター」にご参加くださる方、大歓迎です！

詳しくは、社会福祉協議会（35-3724）へお問い合わせください。お電話お待ちしております！

## 菊川市社会福祉協議会 「賛助個人・法人会員」へのご加入ありがとうございました。

法人会員 (株) 静岡ツーリスト (敬称略)

## ふれあい健康づくり「レクリエーション講座」を開催しました



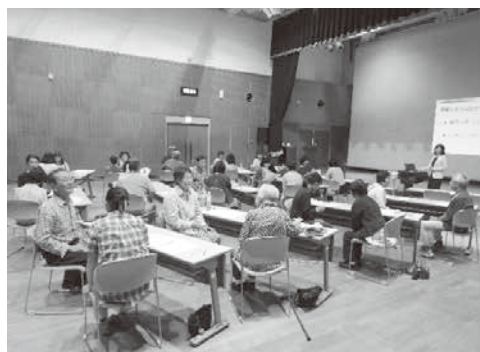
9月から月1回、2回に亘り、プラザけやき201会議室において、「誰もが“笑顔”になれる」をテーマに、講師をお迎えして講座を開催しました。1回の講座につき、26名程の皆さんにご参加いただき、笑い声あふれる楽しい時間を過ごしました。

この講座を通じて、楽しんでもらうための心がけるべきポイントやアレンジ方法、視点を変えることにより、参加していただいた方が「楽しい」「やりたい」と思えるレクリエーションのノウハウ、寄り添った支援のあり方等について学びました。

さらに今年度も、社協職員と共に地域に出向きレクリエーション活動をして下さる方が7名増え、今後の活動の輪を更に広げられるようになりました。

## 「はじめての傾聴～私らしいボランティアのはじめ方～」を開催しました

9月26日(木)に中央公民館の多目的ホールにて「はじめての傾聴～私らしいボランティアのはじめ方～」を開催しました。昭和大学保健医療学部大谷佳子氏を講師にお迎えし、30名の参加者が話を聴くことの基本や、現在の自分がどの程度の傾聴力があるのか、実践も交え、学びました。現在ボランティアとして活動されている方々には振り返りとして、これから関わろうと思ってくださっている方々には初めの一步として、相互に良い体験・学びの場となりました。



## ふれあい広場を開催しました

10月26日(土)に市民総合体育館で「第13回菊川市ふれあい広場」を開催しました。ふれあい広場は、市内に暮らすさまざまな人たちとふれあって理解が深まることで、誰もが安心していきいき暮らせる菊川市となることを目的に、毎年10月の第4土曜日に開催しています。今年度は、福祉団体やボランティア団体の39団体が実行委員となり、体験コーナー・展示コーナー・販売コーナーを設けて、市民の皆さんに紹介をしながら、ふれあいの時間をもちました。



来年度もたくさんの皆さんと会話をし、交流できることを楽しみにしています。ご来場いただいた皆さん、ありがとうございました。



# ボランティアの広場

## ボランティアの輪・和・話(三つの“わ”)

### 「訪問傾聴ボランティア」

菊川市社会福祉協議会のボランティア事業の一つとして『訪問傾聴ボランティア派遣事業』があります。菊川市で行っている訪問傾聴ボランティアは、市内に在住するお一人暮らし、日中独居の高齢者のお宅にボランティアが伺い、1時間ほどお話を聴くという活動です。現在は13名の方が利用され、23名のボランティアが登録してくださっています。需要が高いボランティアとなっており、講座も開催しています。今年度は“はじめての傾聴”という講座を開催し、30名程の方が参加してくださり、受講後には活動に登録してくださる方もいらっしゃいました。

この記事を読んで興味を持った方がいらっしゃいましたらお気軽にお問い合わせください。

問い合わせ先 菊川市社会福祉協議会 ☎35-3724



## ボランティア講演会が開催されました。

11月23日(土)、菊川市家庭医療センター(あかつクリニック) 潘鎮敬医師を講師にお招きし、「アンガーマネジメント研修会～怒りの感情をコントロールする～」をテーマにボランティア講演会が開催されました。

人が怒りに振り回される理由や「ムカツ」としたときの感情の抑え方、自分の気持ちの上手な伝え方等御講演いただき、参加された皆さんは熱心に聞き入っていました。日頃から人と接し向き合うことの多いボランティアの皆さんの今後の活動に活かされることと思います。



## 第42回静岡県ボランティア研究集会 やってみかしん「ボラ輪ピック」in島田宿 ー大井川に架けよう 笑顔のかけ橋ー

日時 令和2年2月9日(日) 9:45～16:15

会場 島田市民総合施設 プラザおおるり

内容 ①基調講演「心のバリアフリー～持続可能な社会を目指して～」  
講師 織田友理子 氏(一般社団法人WheelLog代表理事/  
NPO法人PADM(遠位型ミオパチー患者会)代表理事)

②テーマ別分科会(8分科会)

③全体会

参加費 一般1,000円、高校生以下無料

締切り 令和2年1月22日(水)

※定員(350名)になり次第締め切り

問合せ・申込み先 特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会  
電話054-255-7357 FAX: 054-254-5208



猫の手カلیل

# 参加者募集 各種事業

## 令和2年度 地域福祉活動支援助成の御案内

地域における福祉活動の支援を目的とし、市内の福祉的な課題に取り組んでいる当事者組織や、ボランティア団体、市民活動団体、企業などに共同募金の配分金を財源に助成金を交付します。

### ●交付申請協議書の提出

助成を希望する団体は、令和2年1月17日（金）までに「交付申請協議書」をご提出ください。

### ●助成金額の内示

審査会において協議し、助成金額を内示します。（3月上旬）

### ●交付申請書の提出・交付決定（4月初旬）

問合せ・申込先 菊川市社会福祉協議会 ☎35-3724

## フードドライブにご協力ください

実施期間 令和2年1月6日（月）～1月31日（金）

回収場所 菊川市社会福祉協議会窓口（プラザけやき内）

菊川市役所小笠支所

希望食品 穀類（お米、麺類、小麦粉等）、保存食品（缶詰、瓶詰め等）、インスタント食品、調味料、食用油、飲料（ジュース、コーヒー、紅茶等）、ふりかけ、お茶漬、のり、ギフトパック（お歳暮、お中元）など、常温で保存が効くもの

### （食べ物を寄贈する時の注意）

- ① 生鮮食品の寄贈は受け付けておりません。
- ② 賞味期限が令和2年4月以降の食べ物を寄贈ください。
- ③ 原則未開封の食べ物を寄贈ください。
- ④ お米、缶詰、パスタ、そうめん、防災食などが喜ばれます。

問合せ先 菊川市社会福祉協議会 ☎35-3724

ご家庭に眠っている食品を募集しています！  
フードドライブ実施中！



フードバンクふじのくに  
開催日程：2020年1月6日～1月31日

## お困りごと解決！研修

自分の介護方法で合っているか不安を感じる、分からなくても聞けない、聞きにくいと思われている方、解決の糸口が見つかるかも！

認知症の理解を深めよう 令和2年2月27日（木） 9：30～

根拠を見直す 介護術！ 令和2年2月27日（木） 13：30～

会場 特別養護老人ホーム松秀園 菊川市高橋2774-1

定員 各講座12名（先着順）

持ち物 筆記用具

申込締切 令和2年2月21日（金） 参加費無料

申込先 学校法人三幸学園グループ 三幸福祉カレッジ ☎0120-294-350



## 相談窓口

### 福祉総合相談

日時 月～金曜日 8：15～17：00

### 生活困窮者自立相談

日時 月～金曜日 8：15～17：00

### 心配ごと相談

日時 1月6日（月） 9：00～12：00

1月15日（水） 13：00～16：00

会場 プラザけやき

日時 1月6日（月） 13：00～16：00

1月20日（月） 9：00～12：00

会場 中央公民館

### 結婚相談

日時 1月10日（金） 18：00～21：00

（受付20：00まで）

1月19日（日） 9：00～12：00

（受付11：00まで）

会場 プラザけやき

※初めてのの方は写真と印鑑をご持参ください。

※奇数月の第1金曜日は女性専用日になります。

### ひきこもり、不登校相談

日時 月～金曜日 8：15～17：00

会場 プラザけやき

※毎月第1月曜日（祝日の場合は翌週）には、

ひきこもり・不登校サロンを開設しています。

予約電話 090-1476-3233